

釧路南ロータリークラブ会報

第 37 回 例会 報告 2012.4.6 通算 1437 回

・点 鐘 長倉会長

・ロ - タリ - ソング

「奉仕の理想」「君が代」「四つのテスト」



ソングリーダー 清水 哲会員

・会 長 挨拶



皆さん、こんにちは。今日のプログラムは、新入会員卓話です。亀岡さんからスピーチをいただくこととなっております。自分が入会したときの事を思い出しますが、入会式の時は、無理やり入れられました。と言った記憶があり、その後、高橋さんと当時会員だった岩本さんから「ああ言うことは言わない方がいいよ」と高橋さんからは、睨まれながら、岩本さんからはニコニコ微笑ながら言われたのを思い出します。卓話は、趣味のキャンプの話をしたと記憶しておりますが、皆さんの子守唄になってしまったようでした。当時の事を考えると、自分が会長になるなどとは思ってもおらず、会長なんて、自分には関係のない役割だと思っておりましたが、気

がつくところで会長としてスピーチをしていて 30周年という記念の年の会長となるというのは、想像の外です。当時、無理やり入れられたと言ったのは、半分冗談で半分本気でしたが、受け狙いと思いをしました。わりと受けてましたし。でも、今は、無理やり入会させられて良かったと思っております。無理やりでなければ、入会していなかったでしょうし、ロータリーに入って、色々な人と出会い、色々なことを経験し、そして何よりすばらしい魅力的な人達と同じクラブの仲間として、また、同じ分区や地区の仲間としてお付き合いをさせていただく事もなかったでしょう。自分にとっては、大事な部分となっております。きっと、亀岡さんも気がついたら・・・となっているという事となるのかと思います。

いよいよ、マスターズが開催です。

石川遼、松山秀樹が参戦です。石川遼はここにきて調子が上がってきているようです。

松山は昨年のローアマとして、どういう活躍ができるか楽しみです。

釧路のゴルフ場は、4月オープンが厳しいようです。

・幹 事 報 告



- * 釧路北RC、西RC、東RC、ベイRC、白糠RC、浜中RC、根室RCより4月プログラムを拝受しております。
- * 白糠RC、根室RCより会報、月報を拝受しております。
- * 釧路市民活動センターだより会報第 50 号が届いております。
- * 第 38 回くしろチューリップ&花フェア「アマチュアバンド・ライブ」大会出演者募集の案内が届

いております。

- * 第 22 回日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会のご案内が届いています。2012 年 6 月 25 日 (月) 小樽カントリー倶楽部
- * 紋別港ロータリークラブ創立 40 周年記念式典のご案内。2012 年 6 月 2 日 (土) ホテルオホーツクパレス。

**・委員会報告
出席委員会**

会員 23 名 11 名出席
 メーキャップ 7 名 出席率 64%

**・本日のプログラム
「新入会員卓話」**

担当 会報委員会

- ◆ 「自分の生き立ちと業界」 亀岡 孝会員



私は 1954 年 10 月 3 日 (昭和 29 年) 根室管内中標津町東武佐、武佐岳山麓、酪農畑作の兼業農家の双子の長男として生まれました。その頃は今以上に雪が多く子供の記憶では平屋住宅の軒先まで積もったことを思い出します。小中学校は地元で過ごし 1970 年に両親が離農を決断した為、釧路市への移転に伴い、高校は釧路第一高校に入学し 1973 年に卒業しました。今の会社には 1986 年に入社、もともとは大手の家電メーカーの信販部門に勤めていましたが、設備会社に勤務していた父親の薦めもあって転職し、「設備工事の面白さに目覚め」さらに勉強したく 1978 年、東京の設備と施工の専門学校で二年間学び直して、地元の設備業界に飛び込みました。「最初は学費を稼ごうと水道配管の仕事なんかも経験しましたが、やはり何もない空間に一から作り上げていく設備の仕事が面白かった」と若き時代を振り返ることがあります。その後、二社の設備会社で経験を積ませて貰い、縁あって負債を抱え社名変更した総合設備に現場管理者として入社しました。現在は釧路管内の

公共施設、民間の給排水設備や暖房工事の工事を数多く手掛け、業界でも上位に位置する技術力を有する会社へと成長しました。特に顧客に提供する技術とサービスの向上を大きな目標に掲げ、2002 年以来、品質マネジメント規格 ISO9001 の認証を継続して取得し、2011 年には同じく北海道環境マネジメントシステム HES2010 の認証も取得したほか、さらに労働災害ゼロを目指して、社員への安全教育も徹底させています。近年は建設業界同様、設備業界においても公共工事削減の影響が大きい上、少子高齢化と人口減で住宅産業も厳しく、受注競争と価格競争は厳しさを増しています。しかし、施工後のメンテナンスが欠かせない設備業においては「公共であれ民間であれ、たとえ 1 万円、2 万円といった小さな工事であっても、誠実な対応による信頼の獲得が、10 年先 20 年先の大きな受注につながる」との信念の下、社員一丸となって業務開拓に打ち込んでいます。2012 年度の経営指針においても、技術を磨いて品質管理を徹底し、同業他社との差別化、区別化を図るためにも、新規メンテナンス工事や建築リフォーム工事などの促進を行うことを掲げています。中でも私が目指すのは、徹底した節電や断熱を行うことにより、「電気代や暖房料金が掛からない「ランニングコストゼロ」のエコ住宅設備を実現です。又、先の東日本大震災でも再認識させられたように、市民生活におけるライフラインの中でも上下水道は、人間という血管のようなものです。そんな上下水道をはじめ、給排水設備や冷暖房設備を取り扱う総合設備は、私たちの生活に欠かせないインフラ整備に大きな役割を果たすと共に、確かな技術と実績で公共施設などにおける設備工事を数多く手掛けてきました。近年の公共工事の削減で、この業界の経営環境も非常に厳しいが、メンテナンス工事を充実させ今や地域に欠かせない設備企業として明日も歩み続けていきます。さらに、東日本大震災では、同社からも三人の技術者が被災地に向かい、寸断されたライフラインの復旧に当たりましたが「今後も自分たちの仕事の大切さを社員全員が自覚できるよう社員教育を徹底して行きたいと考えています。目指しているのは社員とともに成長していく『共育』という理念です。」



・次回のプログラム

4 月 13 日 (金)
 「ロータリー雑誌月間」
 会場 釧路ロイヤルイン

担当：メディア委員会

・点 鐘 長倉会長
 今週の会報担当：長井一広会員